



1.17は忘れない
伝える 備える 活かす
阪神淡路20年

平成26年9月号

阪神淡路20年—1.17は忘れない— イベントガイド

発行：ひょうご安全の日推進県民会議

阪神淡路20年を期に県内各地で県・市町だけでなく、各種団体が実施している様々な事業や「減災活動の日(毎月17日)」に家庭や地域、職場で実践されている減災の取組みを紹介いたします。

〔阪神淡路20年 子どもメッセージの募集〕

阪神・淡路大震災から20年を迎えるにあたり、次世代を担う子どもたちから、震災の追悼の思いや南海トラフ巨大地震等大規模災害への決意などを募集し、来年1月17日の「ひょうご安全の日のつどい」で発表・展示等を行います。

対象：小学生(5～6年生)、中学生、高等学校生

テーマ：① 阪神・淡路大震災に寄せる思い

震災について学んで感じたことや、親や祖父母から聞いた震災の感想等

② 東日本大震災に寄せる思い

東日本大震災被災地への呼びかけ、東日本大震災について学んで感じたこと等

③ 今後の大規模災害へ備えて

次なる災害への備えへの決意、家庭・学校・地域で取り組む減災活動等

字数等：200～400字程度

期間：平成26年9月1日～10月20日

問合せ・提出：ひょうご安全の日推進県民会議事務局(県復興支援課内)tel078-362-9832

〔イベント案内〕

■ 防災・復興考える 学生だけの3DAYフォーラム

関西各地の大学から集まった学生が、阪神・淡路大震災の復興や防災・減災について学び、南海トラフ巨大地震に対して、どのような備えをすればよいのか、行動計画を作成して発表します。

日程：9月13日(土)～15日(月・祝)

場所：人と防災未来センター 東館4階

募集：関西圏の学生(大学生4,000円、高校生3,000円)
一般(15日(月・祝)10時からの発表会のみ)

内容：○人と防災未来センターの見学、JR六甲道駅周辺のまち歩き等を通じて、復興等の課題を抽出
○学生同士が討議して具体的なアクションプランづくり
○アクションプランの発表と意見交換

問合せ：兵庫県立大学 学生復興支援団体LAN

兵庫県立大学防災教育センター tel 078-271-3291



防災・復興 考える 3Day フォーラム
9/13(土)から15(月)
参加募集 40名
学生だけの3Day
人と防災未来センターの見学や町あるきを通して、現状の課題を見つけアクションプランを計画
場所：人と防災未来センター 東館4階
費用：大学生4,000円(3日間の飲食費等)
高校生3,000円
対象：関西圏の学生
9/15日 アクションプランの発表シンポジウム(参加無料) 40名

■ (公社)日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会とひょうごボランティアプラザとの連携協定調印式等

災害時におけるひょうごボランティアプラザ((社福)兵庫県社会福祉協議会)との連携を強化し、青年会議所と行政・関係団体との協働を推進します。

また、ひょうごボランティアプラザの活動やJ Cの防災・減災の取組などの展示を行います。

(1) 調印式及び兵庫ブロック協議会50周年記念式典

日 程：9月14日(日) 10:00~
場 所：宝塚ホテル(宝塚市梅野町)
内 容：J C兵庫ブロック協議会とひょうごボランティアプラザとの連携協定調印式

(2) 防災展示

日 程：9月14日(日) 10:00~16:00
場 所：末広中央公園(宝塚市末広町)
内 容：○東日本大震災復興支援・特産品等販売
○ひょうごボランティアプラザの活動状況の展示
○阪神・淡路大震災の被災状況と復興過程の展示
○J Cが取り組む備蓄品(J C-A I D)の展示 など

問合せ：(公社)日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会 tel 078-381-7876



J C-A I Dとは

1世帯(約2名)が2日程度生き延びるための物資をパッケージ化(5,000円)。予めJ Cに登録をし、被災時に自ら、又は被災地へ寄贈して活用を図る。

■ 兵庫県老人クラブ連合会 阪神・淡路大震災20年セミナー

阪神・淡路大震災と東日本大震災を経験した老人クラブからの活動報告を受け、安心安全な福祉社会をめざした老人クラブの新たな取組について討議します。

日 程：9月16日(火) 10:00~12:00
場 所：兵庫県公館大会議室(神戸市中央区中山手通4)
内 容：東日本大震災被災地からの報告(岩手県宮古市老人クラブ連合会)
阪神・淡路大震災被災地からの報告(芦屋市老人クラブ連合会)
基調講演(清原桂子神戸学院大学教授)

問合せ：(公財)兵庫県老人クラブ連合会事務局 tel 078-332-0574

■ 学生フォーラム「レジリエンス・シティ」とはなにか?

「災害からの抵抗力/災害からの回復力を考える」

被災地を対象に実践・研究を進める関西圏の大学生・院生からの報告を元に、それらの意義や課題等を議論します。

日 時：9月20日(土) 14:00~17:00
場 所：関西学院大学上ヶ原キャンパス図書館ホール
内 容：基調講演と学生グループの発表を元に都市や集落の「レジリエンス」を討議

問合せ：(特非)リスクデザイン研究所 tel 078-453-6378



■ 「そなえるって、い〜な！」防災イベント～未来のまちを守るために～

(一社)神戸青年会議所が中心となって取り組んでいる「毎月17日を防災・減災の日に！」を広く県民に呼びかけるために防災イベントを9月28日(日)に開催。



(1) フォーラム

大規模災害に備えて市民として何ができるのか、“まち”が取り組まないといけないことを考える。

日 時：9月28日(日) 10:30~16:00

場 所：農業会館11階大ホール

内 容：○「そなえるって、い〜な(17)！毎月17日を減災の日」の活動報告、青年会議所の活動報告

○基調講演「災害とは、減災とは、備えとは」

講師：河田 恵昭 人と防災未来センター長

(2) 防災体験スタンプラリー

旧居留地エリアを会場に、災害への備えに必要なもの・大切なものをテーマとして、備蓄品や減災ゲームなど12のブースを設置。スタンプを集めた方には、防災グッズなどをプレゼント。

〔出展するブース例〕

〔防災靴、備蓄物資(飲料、食糧、紙食器等)、減災ゲーム・講話、ミニ防災検定、起震車、消火訓練、応急手当、住まい(室内安全、保険等)、通信機器 等〕

問合せ：(一社)神戸青年会議所 tel078-303-0075

■ 福良地区防災フェスタ

南海トラフ巨大地震が発生した場合、8.1mもの津波が想定される福良地区において、災害に強いまちづくりを目指した取組や津波防災ステーションの機能などの啓発を通じて、住民や観光客の防災意識を高めるイベントを開催します。



日 時：9月28日(日)

場 所：南あわじ市福良甲 福良港津波防災ステーション及びその周辺

内 容：○防災講演会(南あわじ市南淡公民館3階大ホール)

津波被害や災害への備えに関する講演会

奥村 与志弘 京都大学地球環境学資源循環学廊助教

宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹

嶽山 洋志 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科講師

○防災学習会(津波防災ステーション学習室)

「感じる」「知る」「逃げる」「備える」「体験する」の観点で津波災害を学ぶ

○防災展示・防災クイズ・非常食の試食等

○福良街歩き「福良路地裏探訪」(福良地区内)

津波からの避難経路等の確認を通じて福良の町並みを知る

問合せ：同実行委員会(南あわじ市防災課内) tel0799-43-5006

〔平成26年度 ひょうご防災リーダー講座受講生募集！〕

地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーを育成するための講座を開催。今年度は、南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えるため、より実戦的なカリキュラムを提供。また、地域で実践できる企画に力点を置き、地域防災計画づくりや避難所運営図上演習、防災DIGなどのワークショップ型の研修や地域防災訓練への参加等講義内容を充実。

講座日程	平成26年9月から平成27年3月のうち 12日間
会場	兵庫県広域防災センター（三木市） ほか
受講対象	現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方で、兵庫県在住、在勤、在学の方
募集人員	120名(申込者が定員を超えた場合は、活動歴、居住地等を考慮して決定) ※過去の防災リーダー講座を修了し、「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は受講することができません。
申込期間	平成26年9月19日（金）必着
受講料	無料（教材等の一部実費負担あり）
修了要件	○全講座の8割以上の出席、○地域防災訓練への参加及びレポート提出、 ○地元自主防再活動について地元リーダーや市町防災担当者への取材を踏まえたレポート提出、○普通救命講習修了
講座終了後は…	○知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号を授与 ○日本防災士機構が認定する防災士の受験資格を付与 ○居住地（又は勤務地）の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供
申込方法	インターネット又は郵送で申し込み ホームページ） http://www.fire-ac-hyogo.jp/bosaileader.html

フェニックス共済が給付対象を拡充！ 共に安心を育みましょう！

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)では、「住宅再建共済」に、8月1日から「一部損壊特約」制度を創設しました。ワンコインの上乗せで、より幅広い自然災害をカバー。より身近な安全安心のツールとして機能を充実！減災にも貢献します。

【フェニックス共済の特色】

区分	年額負担金	被害認定	最高給付金
住宅再建共済	5,000円	半壊以上	600万円
一部損壊特約 (8月1日開始)	500円	一部損壊 (被害割合10%以上)	25万円
マンション共用部分	2,400円	半壊以上	300万円
一部損壊特約 (8月1日開始)	250円	一部損壊 (被害割合10%以上)	12.5万円
家財再建共済	1,500円	半壊以上または 床上浸水	50万円

※マンション共用部分の負担金と給付金は住戸数を掛けた額となります
※住宅再建と家財再建の同時加入や複数年一括払いにより割引あり

- ▶地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です
- ▶地震保険や他の共済に入っている方も加入でき、給付が受けられます
- ▶住宅の築年数や規模等に関係なく、定額負担で定額給付です



- ★申込書配布
県内の郵便局、最寄の県民局・市町、共済基金事務局
- ★申し込み方法
郵送又はインターネット(スマートフォンからも申し込みます)
<http://phoenix.jutakusaiken.jp>

【お問い合わせ】 共済基金事務局 Tel078-362-9400(平日 9:00~17:00) Fax078-362-9405

発行 ひょうご安全の日推進県民会議事務局(震災20周年事業担当)
兵庫県防災企画局復興支援課内 tel078-362-9832 Fax078-362-4459
facebook (<https://www.facebook.com/shinsai20>) Twitter (https://twitter.com/117hyogo_20)